

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-0011  
 住 所 東京都台東区蔵前二丁目17番4号  
 氏 名 JFEライフ株式会社  
 代表取締役社長 守安 進 印  
 (代理人)取締役本部長 橋本 裕一  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	JFEライフ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区南渡田町1番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	事務所等賃貸		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,140	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	東日本営業本部京浜営業所不動産グループ
		所在地	川崎市川崎区南渡田町1番1号
		電話番号	044-322-6557
		FAX番号	044-322-6040
		メールアドレス	
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成24年度 ~ 平成26年度 (報告年度 24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別紙 指針様式第2号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別紙 指針様式第2号の通り
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別紙 指針様式第2号の通り
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別紙 指針様式第2号の通り
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,248 t-CO <sub>2</sub> (調) 5,248	(実) 4,789 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,789	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 5,135 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 8.7 % (調) 8.7	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 2.2 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	川崎市と協議の上基準排出量は平成22年度の排出量を採用する中で、平成23年度と同等の省エネルギー活動等を実施し、エネルギーの使用量が電気で12.2%、都市ガスで5.7%、蒸気で1.7%の省エネルギーができ、温室効果ガスの排出量も8.7%削減することができた。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○主要設備の新設・更新</li> <li>○全館空調管理</li> <li>○照明設備の運用管理</li> <li>○事務機器の運用管理</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 主要テナントを含む推進体制を確立し、省エネルギー活動を実施している。</li> <li>○全館空調管理 平成23年度に全館空調システムの運転要領等を見直しを行い、その運転要領を継続し省エネルギーを実施している。</li> </ul>
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"><li>1. グリーン購入を継続し推進を図る。</li><li>2. 廃棄物の分別化を推進し廃棄物の減量化を図る。</li><li>3. 川崎市温暖化対策推進会議へ積極的に参加する。</li></ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 事務用費の購入等に当たって、グリーン購入の推進を図った。</li><li>2. 事務所等から排出された廃棄物の分別化を推進し廃棄物の減量化を図った。</li></ol>
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,797	t-CO <sub>2</sub>
(調)	4,797	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
テクノパブリケーション川崎	川崎区南渡田町 1 番 1 号	6911	貸事務所	4,797 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--